

様式第1号（第12条関係）

ばい煙・粉じん発生施設設置（使用・変更）届出書

令和3年10月14日

（宛先）小樽市長

届出者 住所 小樽市花園3丁目〇番△号  
株小樽花園

氏名 代表取締役 小樽 太郎

電話番号 0134-32-4111

小樽市公害防止条例第17条（~~第18条・第19条~~）の規定により、ばい煙・粉じん発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場等の名称	株小樽花園銭函工場	※ 受 理 年 月 日	
工場等の所在地	小樽市銭函3丁目〇番△号	※ 整 理 番 号	
資本金額又は出資金額	1億 円	※ 工 場 等 番 号	
就業者数	32 人	※ 審 査 結 果	
業 種	食料品製造業	ばい煙・粉じん発生施設の 種類	第1項ボイラー
敷地面積（建築面積）	2450 m <sup>2</sup> (1193 m <sup>2</sup> )	ばい煙発生施設の構造及び 使用の方法	別紙1のとおり
用 途 地 域	工業地域	ばい煙の処理の方法	別紙2のとおり
主 要 製 品 名 操 業 期 間	かまぼこ	粉じん発生施設の構造・使用 及び管理の方法並びに粉 じんの処理の方法	別紙3のとおり
作 業 時 間	9時～18時	※ 備 考	
公害防止担当部課 責 任 者 氏 名	小樽 三太		

備考

- 1 ばい煙・粉じん発生施設の種類の欄には、小樽市公害防止条例施行規則別表第1号又は別表第2号に掲げる項番号及び施設を記載すること。
- 2 この届出書は、特定施設の種類ごとに作成すること。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 ※印の欄には記載しないこと。
- 5 届出者の住所及び氏名の欄は、法人にあつては、主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名を記載すること。

別紙 1

ばい煙発生施設の構造及び使用の方法

工場等における施設番号		No.1ボイラー		工場事業場における施設番号を通し番号で記載してください。
名称及び型式		(株)小樽OT-2007R		メーカー名、機種番号及び型式を記載してください。
設置年月日				設置届出の場合はこの欄は記載の必要ありません。
着手予定年月日		令和3年12月1日		行為に着手する日を記載してください。原則届出日の30日前です。
使用開始予定年月日		令和3年12月24日		
規模	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )	6.1		カタログ等の数値を記入してください。
	火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )			
	燃料の燃焼量 (ℓ / 時又は kg / 時)	38.4ℓ / 時		カタログ等の数値を記載してください。 単位は、液体燃料がℓ / 時、固体燃料が kg / 時、気体燃料が m <sup>3</sup> / 時で記載し、重油換算量をかっこ書きで記載してください。
	焼却能力 (kg/時)			
使状	用況	1日の使用時間及び使用回数等	0時～24時 24時間/回 1回/日 30日/月	※重油換算量：液体燃料1ℓ、固体燃料1.6kg、気体燃料1.6m <sup>3</sup> がそれぞれ重油1ℓに換算されます。
		季節変動の有無	夏：給湯 冬：給湯+暖房	
原材料	種類			A重油、灯油、都市ガスのように記載してください。
	使用割合			
	1日の使用量 (t/日)			
燃料	種類	A重油		燃料成分表の数値を記載してください。 高位（総）発熱量の数値を記載してください。
	燃料中の成分割合 (%)	灰分0.01% 硫黄分0.64%		
	発熱量 (Kcal/kg)	(高) 10,910Kcal/kg		
	通常の使用量 (ℓ / 時又はkg/時)	30.7ℓ / 時		
	混焼割合	専焼		
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /時)		湿り最大489.0 通常391.0		排出口における排出ガス温度を記載してください。
排出ガス温度 (℃)		220		
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大 0.1 通常 0.05	乾き排出ガス中の濃度を記載してください。	
	硫酸化物 (容量比 ppm)	最大 338 通常 338		
ばい煙量	硫酸化物 (Nm <sup>3</sup> /時)	最大 0.15 通常 0.12	最大 通常	
参考事項	比重 空気比	0.8712 1.3		

備考

- 1 発熱量 (Kcal/kg) の欄の記載に当たっては、高位（総）発熱量又は低位発熱量の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とする。

別紙 2

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場等における施設番号		No.1煙突		処理施設（煙突）の通し番号で記載してください。
処理に係るばい煙発生施設の工場等における施設番号		No.1ボイラー		別紙1と同じ施設番号を記載してください。
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		コンクリート製煙突		
設置年月日				
着手予定年月日		令和3年12月1日		
使用開始予定年月日		令和3年12月24日		
処理の方法	処理能力	排気型式	自然・押込・誘引	自然・押込・誘引
		風量	Nm <sup>3</sup> /分 使用水量	mmAq ℓ /分
	ばい煙の種類			煙突の場合には記載不要です。
	ばい煙の濃度	処理前 (ppm 又はmg/m <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
処理後 (ppm 又はmg/m <sup>3</sup> )		最大 通常	最大 通常	
捕集効率 (%)		最大 通常	最大 通常	
煙突又はフードの大きさ	地上からの高さ(m)	11.95		
	頂部口径(m)	0.56		
補正された排出口の高さ(m)		最大12.28 通常12.22	傘のある場合には記載不要です。	
排出ガス速度(m/秒)		最大1.00 通常0.80	最大 通常	
参考事項	$K' = \frac{(\text{ばい煙量}) \times 1,000}{(\text{補正された排出口の高さ})^2} = 0.99$			
添付書類	1 工場等及びその付近の見取図 2 ばい煙発生施設及びばい煙処理施設の設置 3 ばい煙の発生及びばい煙の処理に係る操業 明する書類			K値計算書より算出したK <sup>〴</sup> （逆算K値）を記載してください。 小樽市のK値は8.0です。